

石川町都市計画マスタープラン

平成 13 年 3 月

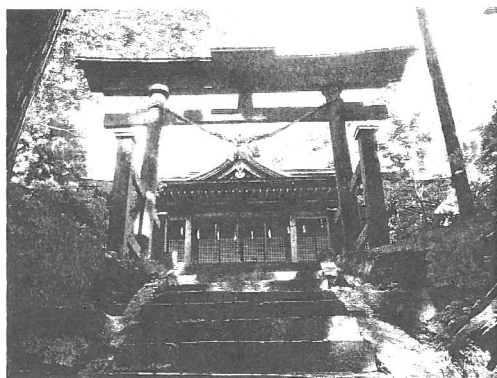
福島県 石川町

〔空白〕

はじめに

石川町都市計画マスタープランの策定に向けて

本町の街並み形成は約 900 年前の三芦城の築城に始まるもので、この間に醸成された地域・歴史的資源を活かしながら、新たな社会経済情勢の変化に対応した魅力ある都市づくりが求められています。



本町では、平成 3 年 3 月に都市整備のマスタープランとして「石川町都市基本計画」を策定し、総合的な都市整備に取り組んできました。

しかし、この約 10 年間の社会経済の変動は大きく、少子高齢化・国際化・環境などの問題と共に人口減少などが深刻な問題となっています。

まちづくりにおいても、都市空間や生活環境、ライフスタイル等の変化が余儀なくされる近年では、良好な生活環境の維持、新たな魅力の創出、地域経済の活性化に向けて総合的かつ効率的な施策を実現させていく必要があります。

また、東北新幹線や東北自動車道・福島空港に加えて、磐越自動車道・あぶくま高原道路が開通するなど、本町を取り巻くの広域交通体系は飛躍的に充実しつつあります。

さらに、平成 11 年 12 月には、国会等移転審議会から本町を含む「栃木・福島地域」が首都機能移転先候補地として選定されるとともに、高度技術産業集積活性化計画、あぶくま新高原都市構想、21 世紀 F I T 構想など本町にかかわる諸々の開発構想と連携しながら、石川地方の中心として広域的視点に立ったまちづくりを進めることが求められており、平成 13 年 3 月には石川町第 4 次総合計画が策定されました。

こうした背景から、町民の生活ニーズの変化や社会経済情勢の変化、国・県の動向などに的確に対応し、本町の持つ諸資源や新たなポテンシャルを最大限に活かしながら、21 世紀にふさわしいまちづくりを推進するため、石川町都市基本計画を見直しつつ、新しい総合計画に則した『石川町都市計画マスタープラン』を策定するものです。

平成 13 年 3 月

石川町長 西牧立博

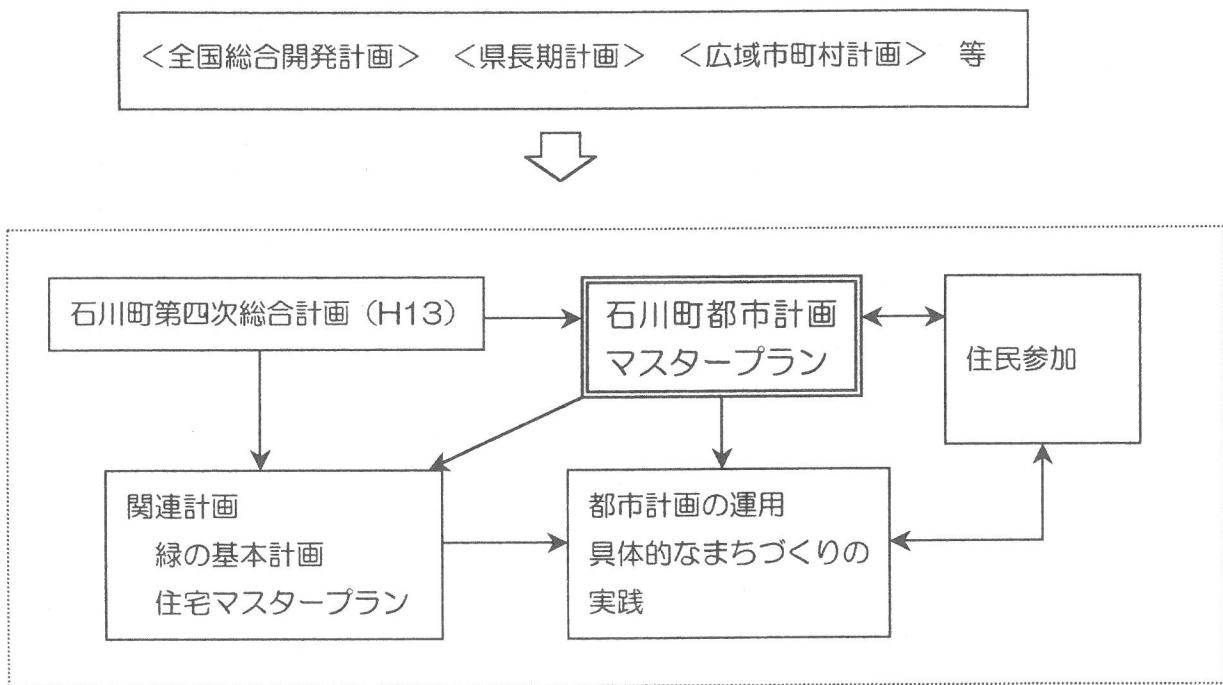
石川町都市計画マスタープランについて

1. 都市計画マスタープランの策定

(1) 都市計画マスタープランの創設

平成4年の都市計画法の一部改正により、制度化された「市町村の都市計画に関する基本的な方針」を一般的に都市計画マスタープランと呼んでいます。

都市計画マスタープランは、石川町第四次総合計画等に則し、市町村の創意工夫のもと住民意向を反映させ、まちづくりの具体的な将来ビジョンを確立するとともに、土地利用や都市施設等の整備の方針を定めるものです。



(2) 都市計画マスタープランを策定する目的

●用途地域等や都市施設の決定・変更の指針

市街地の土地利用の基本となる用途地域等の決定や変更、また都市計画道路や公園等の都市施設の決定や変更は、都市計画マスタープランに基づいてなされるものとなります。

●その他の分野別計画の指針

都市建設に係わるその他の分野別の計画（緑の基本計画、住宅マスタープラン等）の指針としての役割を持ちます。

●住民参加のまちづくりの出発点

計画の策定に住民参加手法を取り入れ、本計画の策定のみならず、今後の住民参加のまちづくりの出発点とします。

2. 石川町の取り組み

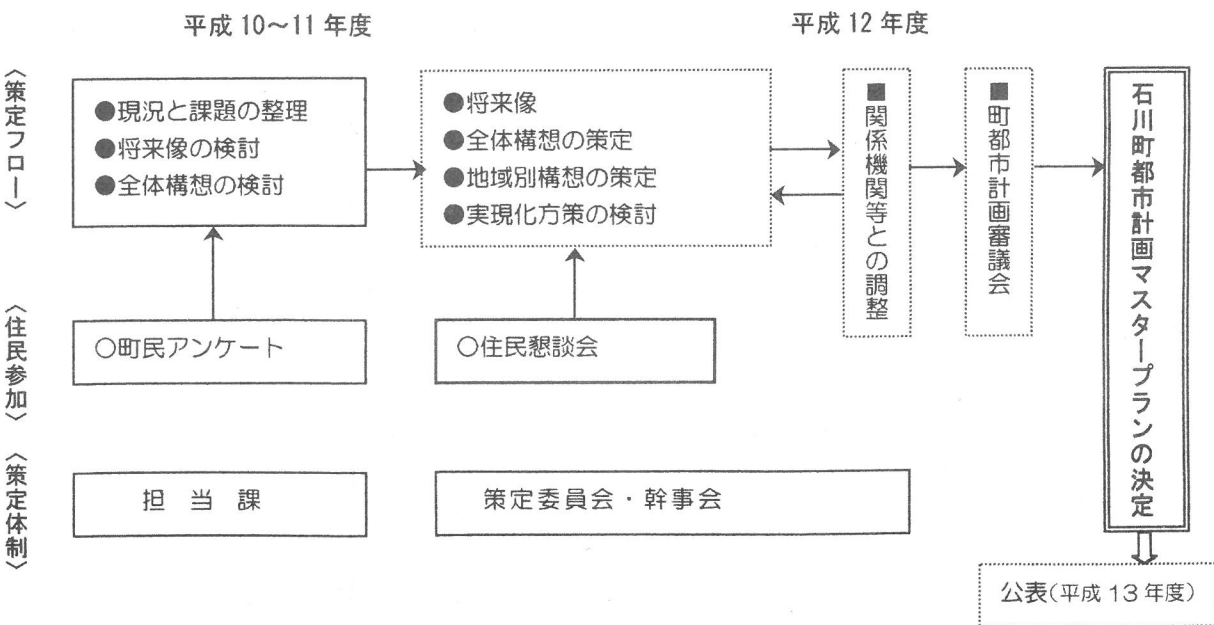
石川町においては、平成2年度に21世紀を見据えた都市整備のマスタープランとして石川町都市基本計画——森と文化の邑づくり」を策定し、これを公表しています。

平成2年	・「石川町都市基本計画——森と文化の邑づくり」策定
平成4年	・都市計画法の一部改正による都市計画マスタープランの創設
平成5年	・石川町第三次総合計画「いしかわさがけプラン」策定 ・福島空港開港
平成9年	・あぶくま新高原都市構想発表（石川町の一部があぶくま新都市の一部に）
平成10年	・「石川町都市計画マスタープラン」の策定に着手
平成11年	・「石川町第四次総合計画」の策定に着手 ・首都機能移転先候補地「栃木・福島地域」選定

3. 都市計画マスタープランの策定フローと項目について

(1) 策定フロー

都市計画マスタープランの策定フロー及び住民参加手法との関係の概略については、以下に示すとおりです。



(2) 都市計画マスタープランの構成

都市計画マスタープランの構成については以下のように考えます。

1.都市の現況と課題の整理	【全体構想】 2.石川町の将来像 3.まちづくりのマスタープラン	【地域別構想】 4.地域別マスタープラン （中央地域・西部地域・北部地域・東部地域・南部地域）	5.実現化方策の検討
---------------	--	---	------------

石川町都市計画マスタープランについて

第1章 都市の現況と課題の整理

1-1	石川町の概況	1
1.	都市の沿革	1
2.	自然条件	2
3.	都市計画	4
4.	社会条件	6
1-2	上位計画等の把握と都市整備の方向性	16
1.	上位計画等の把握	16
2.	石川町の位置づけと都市整備の方向性	19
1-3	町民意向の把握	20
1-4	まちづくりの現況と課題	26
1.	土地利用の現況と課題	26
2.	市街地整備の現況と課題	27
3.	都市施設整備上の現況と課題	28
4.	都市景観、都市環境等の現況と課題	32

第2章 石川町の将来像

2-1	まちづくりの将来像と基本理念	33
2-2	将来人口フレームの設定	36

第3章 まちづくりのマスタープラン

3-1	石川町の将来都市構造	37
1.	将来都市構造の考え方	37
2.	都市構造と土地利用ゾーニングのイメージ	39
3-2	土地利用の基本方針(ゾーン別土地利用の方針)	40
1.	都市的土地利用ゾーン	40
2.	農業的土地利用ゾーン	44
3.	森林・レクリエーションゾーン	45
4.	臨空型産業展開ゾーン	46
3-3	都市施設整備の基本方針	47
1.	道路整備の方針	47
2.	公園・緑地整備の方針	53
3.	下水道整備の方針	57
4.	河川整備の方針	58

3-4	良好な都市環境形成の方針	59
1.	都市景観形成の方針	59
2.	自然環境の保全年針	61
3.	様々なまちづくりの方針	62

第4章 地域別マスタープラン

4-1	地域区分の設定	63
4-2	地域別マスタープラン	65
1.	中央地域	65
2.	北部地域	70
3.	東部地域	74
4.	南部地域	78
5.	西部地域	82

第5章 実現化方策の検討

5-1	都市計画マスタープランの事業化に向けて	87
1.	実業化に向けての推進方策の検討	87
2.	市街地整備の推進、土地利用の規制誘導	87
3.	都市施設等の整備	89
4.	都市計画を推進する組織等の整備	90
5-2	都市計画マスタープランを実現させるための役割分担の考え方	91
1.	住民と行政の役割分担	91
2.	団体及び民間事業者の役割について	92

参考資料

将来人口フレームの考え方	93
石川町都市計画マスタープランの策定経緯	97
石川町都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱及び名簿	98